



今回のタイトルは E 組の上田心紀さんのデザインです！

自律・礼節・協働
高校生としての学習習慣確立
社会に向けたアクションとチャレンジ

高校 1 年の学年目標として、この三つを掲げてきました。みなさんは、1 年前と比べて自身の成長をどのように感じていますか。いろんなことがあったとは思いますが、一人ひとりが必ず成長した部分を持っています。できなかったところを反省することも大切ですが、年度の終わり、ちょっと立ち止まって、1 年前の自分を振り返り今の自分がどんなに遠い地点まで来たかを見通してみましょう。きっと、こんなに変わったんだ、こんなに成長したんだという気づきがたくさん見つかるはずです。その気づきを糧にして、次の一步を踏み出しましょう。

三つの学年目標を集約すると「自律」ということに尽きます。他の人々に対して礼節をもって接し、協働して何かを作り出すのも、様々な教科を学んで幅広く深い教養を身につけるのも、社会や研究と向き合うのも、「自律」の作法を学ぶためです。社会で、他者や学問との関わりのなかで自らを適切に律するやり方を見出していく、それが高校生として成長することで、次の「大人」というステージにつながります。

「自律」のためには心の持ち方、心のごきげんを保つことも大切です。その際、ネガティブな感情が心にわきあがってくるのを抑えつける必要はありません。それはありのままの心を否定することになります。ポイントは、その感情を容易に言葉に結びつけないことです。「ウザい」「ムカつく」といった言葉を口にしたとたん、またスマホで発信してしまったとたんに、その感情は重く心に落ちてきます。その言葉は自分と他人とを傷つけます。たとえネガティブな感情がわいてきても、心の片隅にやり過ぐすことです。別のごきげんなことに意識を向けているうちに、いつの間にかその感情は消えていきます。そんなごきげんマネジメントができる心の幅を、少しずつ広げていきましょう。

さまざまの こと思ひだす 桜かな（松尾芭蕉）
けふまでの 日はけふ捨てて 初桜（加賀千代女）

春、桜の花のもと、過去と現在、現在と未来が交錯する不思議な時空。

この春休み、過去を顧み、今の自分のあり方を見据え、新たなステージでの展望を描きましょう。

砂口義智

4 月		
1	火	休校期間
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	始業式
8	火	探究日(中学入学式)
9	水	学力テスト
10	木	授業開始
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	学年ランチ(ABCD 組)
17	木	
18	金	
19	土	第 1 回保護者会 サイエンス 総合知
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	1～5 限短縮授業 生徒総会
24	木	学年ランチ(EFG 組)
25	金	
26	土	サイエンス 午後 探究検定説明
27	日	
28	月	
29	火	昭和の日
30	水	健康診断



学年通信

山脇学園高等学校 1 年 第 13 号
2025 年 3 月 21 日(金)発行

春期講習について

3 月 24 日(月)～26 日(水)に春期講習が行われます。各講座についての詳細は以下の通りです。

欠席・遅刻の場合は保護者の方より「安心でんしょぱと」にてご連絡ください。その際に、お嬢様が受講する時限・講座名・担当者名を併せてお知らせください。

時限	講座名	担当 1	教室	担当 2	教室
1・2 限	数学【理系数学入門】	能登谷慶一	161	吉川健	162
1・2 限	社会【新高 2、にもかかわらず歴史総合】	小田島優子	528		
3・4 限	英語【論理的な英文の読み方最終回】	宮崎信乃介	528		
3・4 限	英語【大学入試演習～逆算的思考～】	熊倉まや	161		
5・6 限	理科【生物は暗記科目？】	清藤友恵	161		
5・6 限	理科【化学基礎復習講座】	堀邦子	163		
5・6 限	理科【飛翔、物理基礎から物理へ】	大西一成	269		
5・6 限	国語【現代文・共通テストを見据えて】	海老原圭介	162		
5・6 限	国語【古文基礎ちょっと違った視点から】	砂口義智	142		
7・8 限	英語【英検準 2 級対策講座】	星野充史	142		
7・8 限	英語【英検 2 級対策講座】	小池充	143		
7・8 限	英語【英検準 1 級対策講座】	奥田晃士	145		
7・8 限	英語【英検準 1 級対策講座】	Osmond_Anthony	147		
7・8 限	社会【公共、どうでしょう】	鵜澤良	146		

春休みの課題について

1 日 4 時間の学習を基本としながら、自分の課題や目標を明確にした状態で高校 2 年生のスタートを切れるよう準備をしたり、自分の将来につながる機会に積極的に参加しましょう。提出期限は 4 月 7 日(月)です。課題の内容や提出方法等の詳細は後日お知らせします。

①スタディサポート活用 BOOK

②自分のキャリアプランの参考になるイベントに参加(以下の選択肢から最低 2 つ)

- 学習進路部主催行事
- オープンキャンパス
- インターンシップ
- 看護・保育体験
- 研究発表 など

4 月 1 日以降の学年電話番号について

進級にあたって学年の直通電話番号が変わります。3 月中は高 1 の番号にお電話ください。
高 2 の電話番号は 03-3583-1827 となります。

新年度のクラス発表について

新年度のクラスは 4 月 4 日(金)正午 高 1Google Classroom(HR)に掲載予定です。

平田オリザ先生のモデル授業について

中学生の時にドラマエデュケーションでお世話になった平田オリザ先生からモデル授業のご案内が届き、希望者を対象にモデル授業を実施することになりました。下記がモデル授業の予定となりますので、参加する方はご確認ください。

〈実施要項〉

- ・日時： 3 月 22 日(土)9:00～12:00 （50 分×3 コマ）
- ・集合： 8:40 ラーニングフォレスト
- ・持ち物： 筆記用具、メモをできるもの、タブレット
- ・服装： 第二制服

新企画「スロバキア大使館に行こう！」

先日 2 月 10 日にスロバキア大使館の領事にご来校いただき行われた講演会では多くの生徒がスロバキアに興味を持ち、より深く学びたいという思いが強まりました。そこで、「スロバキアという国について理解を深める」「大使館の役割について知る」「進路探究として大使や領事の仕事をを知る」を目的として、スロバキア大使館訪問が企画されました。当日参加する生徒は、3 月 11 日に配信された Classroom をご確認ください。

日程:3 月 27(木)14:00-15:30

場所:スロバキア大使館(現地集合、現地解散) [港区元麻布 2-11-33](#)

費用:無料(交通費は個人負担)

伊豆研修について

3 月 27 日(木)～28 日(金)はサイエンスクラスの希望者で伊豆研修を行います。当日については配布済の資料や Classroom 等をご確認ください。

始業式について

4 月 7 日(月)は始業式です。**通常登校**となります。登校したら、高2フロアの自分の教室に入り、靴箱やロッカーは番号を間違えないように使用してください。高校 2 年生の自覚を持ち、服装を整え、忘れ物の無いようにしましょう。服装は第一制服(黒ストッキング)に正カバンで登校してください。高校 2 年生の学年章はこの日の HR で配布します。持ち物は、上履き、ハンガー2 本(記名)、ロッカーの鍵、雑巾 2 枚、保健調査票、春休みの課題、体操服です。気持ちを新たに高校2年生を迎えましょう。

当日は 11:30 から自教室(Zoom)で1時間程度生成 AI 講演が行われますので、13:00 頃終了予定です。

学力テストについて

4 月 9 日(水)は学力テスト(スタディサポート)2 年 第 1 回を実施します。時間と範囲表は以下の通りです。

教科	範囲	時間
国語 α	<u>漢文選択あり</u> 【知識・技能】 ・現代文知識・技能 ・古文知識(助動詞、古文単語) ・漢文知識(訓読、再読文字、句法、語彙、漢詩の知識) 【思考力・判断力・表現力】 ・論理的な文章読解 ・文学的な文章読解 ・古文読解・漢文読解	70 分
数学 α	【知識・技能】 ①数学Ⅰ ②数学Ⅰ・Aを選択 (場合の数と確率・図形の性質) 【思考力・判断力・表現力】 ・2 次関数 ・図形と計量	60 分
英語 α	<u>リスニング選択あり</u> 【知識・技能】 ・知識理解 語彙 ・知識理解 文法 (動詞の時制、代名詞、仮定法、比較) ・知識活用 【思考力・判断力・表現力】 ・リーディング ・リスニング	70 分

第 1 回保護者会について

4 月 19 日(土)午後に第 1 回保護者会を開催いたします。ご多忙の折恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえご出席ください。なお、ご来校時には保護者証をお持ちください。詳細は後日安心でんしょばとでお知らせいたします。

修学旅行代金お振込みについて

5 月 7 日(水)～11 日(日)は A～F 組修学旅行、5 月 7 日(水)～12 日(月)が G 組沖縄研修となります。本日 21 日にご旅行代金お振込みのご案内を配布いたしました。費用内訳やお取消し料についてはご案内用紙の裏面に記載しておりますので、ご確認ください。お振込み期限は **4 月 11 日(金)**となっております。よろしくお願いいたします。

能楽鑑賞会について

3 月 7 日(金)に観世能楽堂にて能楽鑑賞会を実施しました。前半は能楽「巴」の解説やワークショップが行われました。「観世流」の紹介では、室町幕府三代將軍足利義満に認められ勢力を伸ばした観阿弥・世阿弥父子についてのご説明もあり、生徒は日本の伝統芸能である「能」の歴史の長さ后感嘆していました。また、能における「喜び」や「悲しみ」を表現する所作をご教授くださり、生徒もその表現の仕方に興味を持っていました。「巴」の鑑賞では、能独特の世界観を堪能し、終盤の巴の殺陣の場面では特に圧倒されていた様子でした。質疑応答では、舞台芸術や衣装を始めとして非常に多くの質問が寄せられ、能をより深く理解したいという生徒たちの意欲が感じられた時間でした。以下、生徒からの感想の抜粋です。

・能は、音楽の授業で映像を観たことがあったが、実際に鑑賞したのは初めてで、迫力があつた。私は 1 番前の座席に座っていたため、演者の方の細かい動作や、表情、喋り方一つ一つが物語の雰囲気を作っていることに気づいた。演劇などではどうしても主役が目が行きがちだが、能は楽器や歌声、足踏みなどにもお客さんを注目させていると感じた。また、能はセリフ量が少ないが、喜怒哀楽を動作のみで表して想像で楽しませており、音楽のみの時間では登場人物の感情を音の大きさやリズム、速さなどで表現しているのだと考えた。

・今回は実際に日本文化を生で体験することの大切さを学んだ。自分が想像していたよりも能は迫力があり演者さんの凄さや能の魅力を感じることができた。今までは教科書や映像で学ぶことが大半だったが、自分の目で見て体感することでこんなにも感じ方が異なるのだと思った。また普段は古典を教科書で読んでいるため何となく理解することができるが、音で聴くと何のことにについて話しているのか分からないことがあった。しかし、言葉は理解できないが動作や雰囲気から何を表現しているのか、どの場面を演じているのかを想像することも能の魅力なのではないかと感じた。

キャリア講演会について

3 月 12 日(水)探究日は講堂にてキャリア講演会を行いました。まずは本校の現高 3 の学年部長の小沢より「自分の興味関心と学問のつながりを考えることの大切さ」をテーマにお話をしました。次に、法政大学人間環境学部人間環境学科准教授の佐伯英子先生をお招きし、前半は「進路」と「キャリア」をジェンダーと社会学の視点から考える」というテーマで先生からお話をいただき、後半は座談会という形で有志生徒が佐伯先生を囲み、活発な質疑応答の場となりました。お話の中で、「到達の形も到達への道もたくさんあり、自分を軸に考えることが重要」というお言葉が印象的でした。部活動や学校行事、海外経験やボランティア活動などを通じて自分の役割への理解や経験を深め、興味関心のあることを専門的に学べるチャンスにアンテナを張る習慣をつけましょう。単なる「楽しかった」だけではなく、経験からの「気づき」を次のアクションにつなげ将来の可能性を広げていきましょう。

以下、生徒からの感想の抜粋です。

・自分は将来の夢やキャリアについて考えることが最近増えてきたので、このようなお話を聞ける機会が会ってとても嬉しく、参考になりました。講演を聞いている中で感じたのは、自分がやりたいことや夢に思っていることを達成できるように、自分が何に対して最も興味を持っているのかなど、自分自身についてをいかに知ることが大切なんだと思いました。

・私は正直、新しいことに挑戦するのは得意な方ではないのですが、今回の講演を受けてみて不安や心配があってもまずは挑戦することが大事だということに気がきました。佐伯先生が、学生時代に留学や他国の学生との交流など、さまざまな経験を積んでいたことにとても刺激をもらいました。山脇には、研究活動や短期留学、インターンシップなどさまざまな経験ができるような体制が整っているのを、それを有効活用して将来のキャリアに繋げたいと考えました。



校内探究活動発表会(YSE)について

3月14日(金)・15日(土)に校内探究活動発表会 山脇サイエンス EXPO(YSE)を実施しました。中3の全チャレンジプログラムや高2総合探究、高1有志の発表、サイエンスクラス理数探究、中学生有志の発表などを行いました。

高1有志では、キャリア甲子園で準決勝に出場したグループの子ども食堂と保育所を融合させたプロジェクト、冬休みに体験した防災学習がきっかけで生まれた防災に関する行動や心構えについての提案、都会の喧騒で心休まらない現代人へ向けた、自分に合った「落ち着く空間」を見つけられるアプリの提案が発表されました。サイエンスクラス理数探究の生徒も、1年の活動のまとめとして各研究の発表を行いました。



サイエンスクラス1年間のご報告

サイエンスクラス(G組)では、通常の授業に加え、この1年間理数探究での活動や総合知と呼ばれる授業を行いました。理数探究では、自らが立てた仮説を長く深く検証し、その成果をまとめ、相手に伝えました。のべ69件の学内発表、58件の学外発表を行い、うち22件の受賞がありました。総合知では、大学の先生や企業の研究者をお招きしキャリア形成を目的とした授業を行い、進路選択や女性のキャリア形成について考える機会となりました。理科の楽しさを伝えるサイエンスショーなど新しい仕事を立ち上げた先生のお話もあり、多岐にわたる学びがありました。

この1年、急遽予定が入る中での学業や他の活動との両立であったり、活動で行き詰まったり、など大変なことも多かったと思います。ただ、その中でも逃げずに向き合い、団結して本当によく頑張りました。その経験は研究だけでなく、壁に直面したときに立ち向かうヒントや心の糧になると信じています。保護者の方を始め、関わった全ての方々のご支援に感謝申し上げます。

～高1学年回からのメッセージ～

この1年間、みなさんのチャレンジと成長の伴走者として、数々の素敵な体験をさせてもらったことを、本当に感謝しています。ここで得たものを礎として、みなさんが今後さまざまな花を咲かせることを期待しています。**砂口義智**

一年間、中学生から高校生へと成長していく皆さんの姿を見させていただきました。私自身も皆さんの物事に前向きに取り組む姿に刺激を受け、いろいろチャレンジをした一年でした。またご縁があればお会いしましょう。ありがとうございました、引き続き青春を謳歌してくださいね！**海老原圭介**

高校生活の3分の1が終わりましたね。皆さんは、この1年で、何を学び、何を感じ・考えてきたでしょうか。皆さんは、大学受験が終わった時、どんな自分でいたいですか？また、皆さんは、どんな人間として生きていきたいですか？自分がこの1年で得たことに誇りを持って、学び続けてください。1年間、ありがとう！**鶴澤良**

高校1年生という新しい環境での1年間、本当にお疲れさまでした。大きく成長できた人も、思うように成長できなかったと感じる人も、これからの一歩一歩が皆さんの未来を形作っていきます。振り返ったときに「この1年は良い年だった」と思えるよう、自分が信じる道をしっかりと歩んでいってください。**宮崎信乃介**

チャレンジ精神旺盛で色々な事に前向きに取り組む皆さんと一緒に過ごしたこの1年は楽しくてあっという間でした。来年はいよいよ山脇学園の中心となる学年になります。皆さんのポテンシャルを活かしてさらなる飛躍を期待しています。**能登谷慶一**

目まぐるしい毎日の中、何事にも全力投球している姿に刺激をもらっていました。勉強、部活、学校行事など、手を抜かずに取り組むほど得られるものは大きかったはずです。その一生懸命さを忘れずに高校2年生でも頑張ってくださいね。さらなる成長を楽しみにしています。**五味奈津希**

この学年の好きなおところ

- ・講演会の質疑応答が盛り上がるところ
 - ・任意参加のイベントやプログラムに積極的に参加するところ
 - ・高校2年生になるにあたり、リーダーシップを発揮しようと挑戦する人が多いところ
- みなさんの成長が見られて、とても楽しい1年でした。どうもありがとうございました。**橋本真人**

この1年間、高校生としてさまざまなことに挑戦してきた皆さん。壁にぶつかっても、誰かのせいにしたり、諦めたりすることなく、そのとき自分にできることを精一杯考え、行動し、ごきげんに乗り越える姿を見て、とても尊敬しました。これからのさらなる活躍を楽しみにしています。**清藤友恵**

今年も成長に驚かされる1年でした。不安なときもあるかもしれませんが、もっと自分を信じてもいいと思います。自分の限界は自分自身でしか決められないよ。ありがとうございました。これからも応援しています。**竹村勇紀**

志が高く、様々なことに臨機応変に対応する力も兼ね備えた皆さんと一緒に過ごした日々はとても楽しく、「私も頑張ろう！」と励まされていました。自分の信じる道を進んで、人に希望や勇気を与えられる人になってください。応援しています。**熊倉まや**